

2012年3月期(FY2011)
第2四半期
連結決算報告



大幸薬品

2011年11月
大幸薬品株式会社



➤ 感染管理事業の復調と

構造改革の効果により、連結業績が回復

連結經營成績

連結経営成績サマリー

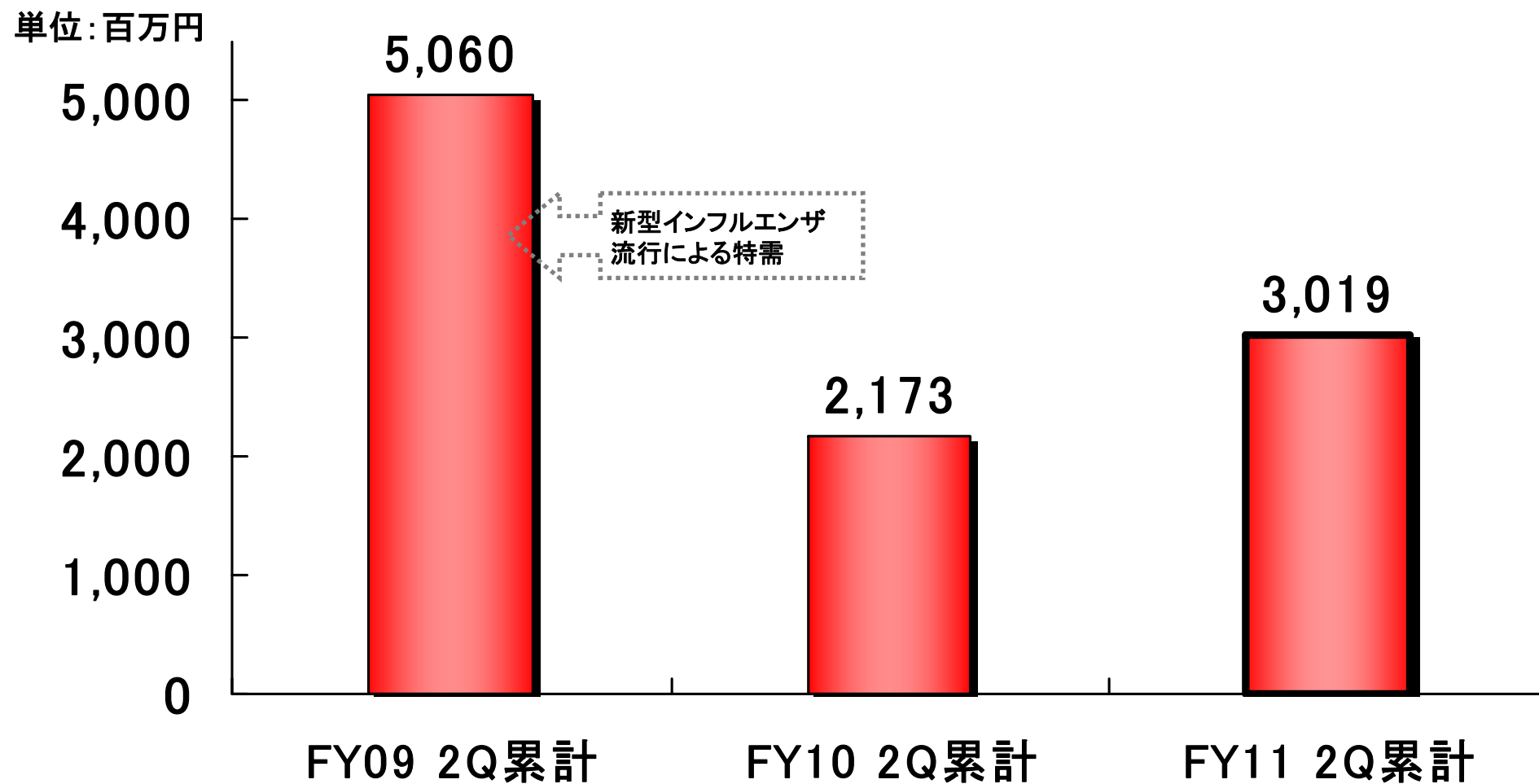
➤ 堅調な医薬品と感染管理の復調から、黒字回復

単位：百万円

	FY10 2Q累計	FY11 2Q累計	増減	増減率	増減要因等
売上高	2,173	3,019	846	39.0%	(医薬品) 国内堅調、海外回復により、 前年同期比 473百万円増加 (感染管理) 流通在庫の減少、出荷回復により、 前年同期比 375百万円増加
売上原価(※) (売上高比率)	619 (28.5%)	919 (30.5%)	300	48.6%	
売上総利益 (売上高比率)	1,554 (71.5%)	2,100 (69.5%)	546	35.1%	増益の一方、返品調整引当金が利益率に影響 (引当金計上前：前年同期 69.3%→当四半期 69.5%)
販売費及び 一般管理費	1,897	1,552	△345	△18.2%	構造改革の効果により、在庫保管料、人件費等 が減少
営業利益 (売上高比率)	△343 (-)	547 (18.1%)	891	-	営業損益が黒字回復
経常利益 (売上高比率)	△324 (-)	546 (18.1%)	870	-	
四半期純利益 (売上高比率)	△709 (-)	405 (13.4%)	1,114	-	当四半期：特別損失140百万円計上 (退職給付制度改定損、減損損失等) 前年同期：特別損失115百万円計上、 法人税等調整額267百万円計上

(※) 返品調整引当金計上後の売上原価

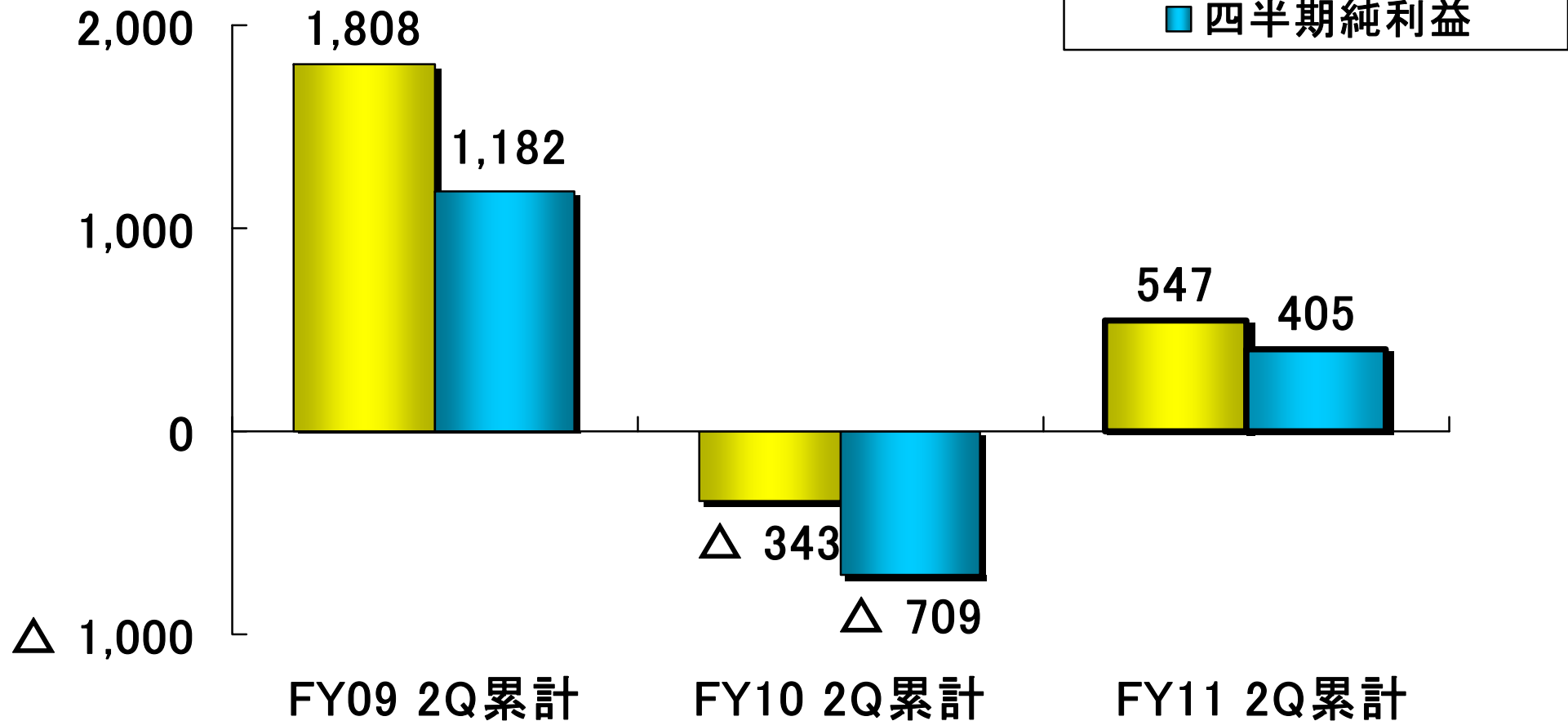
➤ 医薬品事業、感染管理事業ともに増収



連結営業利益・四半期純利益推移

➤ 営業利益、純利益ともに増益

単位：百万円



販売費及び一般管理費

▶ 売上高増加の一方、構造改革の効果によりコストが減少

単位：百万円

	FY10 2Q累計	売上高 比率	FY11 2Q累計	売上高 比率	増減	増減率	増減要因等
販売費	642	29.6%	506	16.8%	△136	△21.3%	
広告宣伝費	361	16.7%	285	9.5%	△76	△21.1%	主に新聞広告(医薬品)の減少 (下期のTVCMへ投入)
販売促進費	180	8.3%	149	4.9%	△31	△17.3%	
運送費	100	4.6%	71	2.4%	△29	△29.0%	主に在庫保管料の減少
人件費	694	32.0%	609	20.2%	△84	△12.2%	希望退職等による減少
その他経費	560	25.8%	436	14.5%	△123	△22.1%	
研究開発費	148	6.8%	90	3.0%	△57	△38.8%	研究対象の優先順位の見直し
支払手数料	129	6.0%	86	2.9%	△42	△33.1%	特許、人事関連費用等の減少
計	1,897	87.3%	1,552	51.4%	△345	△18.2%	

連結財政状態

➤ 売上債権増加、退職金支払等により現預金が減少

単位:百万円

	FY10 4Q期末	FY11 2Q期末	増減	増減率	増減要因等
流動資産	7,431	7,377	△53	△0.7%	
現金及び預金	4,185	3,670	△515	△12.3%	営業CF △361 (EBITDA 670) 投資CF △73 財務CF △53
売上債権	1,322	2,024	702	53.1%	主に医薬品の売上債権の増加
たな卸資産	1,526	1,452	△74	△4.9%	
固定資産	3,822	3,778	△43	△1.1%	営業拠点(東京)売却契約に係る減損等
資産合計	11,253	11,156	△96	△0.9%	
流動負債	2,040	1,461	△579	△28.4%	未払金の減少等 (退職金支払、広告費用支払等)
仕入債務	314	350	35	11.3%	
固定負債	919	1,031	112	12.2%	退職給付引当金の増加等
純資産	8,293	8,663	370	4.5%	利益剰余金の増加等
負債純資産合計	11,253	11,156	△96	△0.9%	
自己資本比率	73.6%	77.5%			

連結キャッシュ・フロー状況

➤ 売上債権増加、退職金支払等により、営業活動CFがマイナス

単位：百万円

	FY10 2Q累計	FY11 2Q累計	主な要因
営業活動CF	△2,023	△361	EBITDA 670百万円 退職給付引当金の増加 119百万円 売上債権の増加 △703百万円 未払金の減少 △485百万円
投資活動CF	104	△73	医薬品に係る設備投資等 △103百万円
財務活動CF	△103	△53	配当金の支払 △62百万円
現金・同等物換算差額	△27	△1	
キャッシュ増減(※1)	△2,049	△491	
キャッシュ期末残高	3,006	3,582	

EBITDA(※2)	△230	670	営業利益 547百万円 減価償却費 122百万円
------------	------	-----	-----------------------------

(※1) キャッシュ増減 = 営業CF + 投資CF + 財務CF + 現金・同等物換算差額

(※2) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

セグメント情報

セグメント別事業概況(連結損益サマリー)

- (医薬品事業) 増収増益、費用配賦割合も低下し、利益率が改善
- (感染管理事業) 売上高回復の一方、利益確保には至らず

単位: 百万円

	売上高			営業利益			
	FY10 2Q累計	FY11 2Q累計	増減率	FY10 2Q累計	利益率	FY11 2Q累計	利益率
医薬品事業	2,236	2,710	21.2%	866	38.7%	1,272	47.0%
感染管理事業	△78	297	-	△422	-	△40	-
その他事業	14	11	△15.9%	△14	-	△9	-
全社(※)	-	-	-	△772	-	△675	-
連結合計	2,173	3,019	39.0%	△343	-	547	18.1%

(※) 全社に係るコスト(主に管理部門コスト、基礎的試験研究、企業広報)

セグメント別事業概況(医薬品事業/国内)

- ▶ TVCM放映と店頭販促強化により、主力製品が堅調に推移
- ▶ 水なしで服用できる止瀉薬『ピシャット錠』を販売開始
- ▶ 小児五疳薬『樋屋奇応丸』の独占国内販売権を取得



正露丸



セイロガン糖衣A



ピシャット錠



樋屋奇応丸

製品カテゴリー別売上高

単位：百万円

	FY10 2Q累計	FY11 2Q累計	増減	増減率
正露丸	903	1,021	118	13.1%
セイロガン糖衣A	1,023	1,192	168	16.5%
その他(※)	43	91	47	108.9%
計	1,970	2,305	334	17.0%

(※) 止瀉薬「ピシャット」ブランド、小児五疳薬『樋屋奇応丸』、整腸薬『ラツパ整腸薬BF』

当社の国内止瀉薬市場シェア(店頭小売価格ベース)

出所：(株)インテージ 調査データ

	FY10 2Q累計	FY11 2Q累計	増減
市場シェア(※)	50.8%	52.9%	+2.1P

(※) シェア内訳：『正露丸』、『セイロガン糖衣A』、『ピシャット』ブランド

セグメント別事業概況(医薬品事業/海外)

➤ 中国市場の売上が回復

(前年同期は現地での販売ライセンス更新に伴う一時的出荷停止が影響)

➤ 『セイロガン糖衣A』を中国市場で販売開始



正露丸



セイロガン糖衣A

地域別売上高

単位:百万円

	FY10 2Q累計	FY11 2Q累計	増減	増減率
中国・香港	230	367	137	59.8%
台湾	17	33	16	92.4%
その他(※)	18	3	△14	△79.1%
計	266	405	138	52.1%

(※) その他の対象エリア:

アメリカ、カナダ、タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム、モンゴル、シンガポール

➤ 事業環境(流通在庫の減少等)が改善、売上高が回復

製品カテゴリー別売上高

単位:百万円

	FY10 2Q累計	FY11 2Q累計	増減	増減率
液剤	△45	33	79	-
ゲル剤	△33	247	280	-
キット	△0	6	6	-
クレベリン発生機 リスパス(※)	3	12	8	204.6%
その他	△2	△1	0	-
計	△78	297	375	-



クレベリン スプレー



クレベリン ゲル



クレベリン マイスティック



クレベリン発生機
リスパス S



クレベリン発生機
リスパス NEO

(※)『クレベリン発生機 リスパス』: 低濃度二酸化塩素ガス発生装置

セグメント別事業概況(その他事業)

➤木酢液を配合した入浴液、園芸用木酢液等を製造販売



木酢入浴液



木酢液

製品売上高

単位:百万円

	FY10 2Q累計	FY11 2Q累計	増減	増減率
木酢製品等	14	11	△2	△15.9%

構造改革の進捗状況と 今後の方向性

FY11 営業利益黒字化

1. トップラインの成長

医薬品事業のシェア向上

感染管理事業の回復

2. 利益体質への転換

損益分岐点引下げによる体質改善

3. 財務基盤の強化

財務リスク改善

FY11 活動方針

■ 販売戦略の見直し

・重点アイテムへの広告集中、TVCMと店頭販促の連動強化

■ 他社とのアライアンス推進

■ 海外での販路開拓

■ 流通在庫のコントロール

■ 新人事制度、新組織のスタート

■ 不採算事業、不採算製品の見直し

■ 海外拠点の再編検討

■ 研究開発効率の向上

■ 固定費の圧縮(在庫保管料等)

■ 自社在庫のコントロール強化

■ 不動産の有効活用検討

■ 医薬品事業のシェア向上(国内)

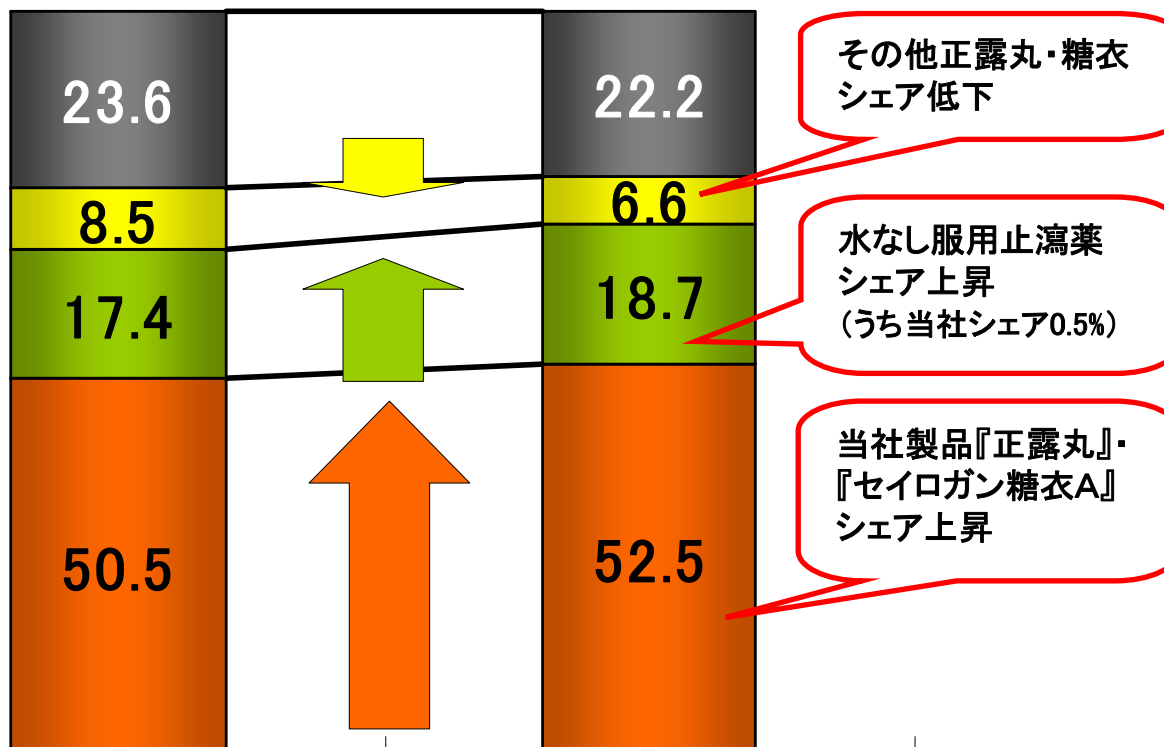
現況

基本戦略

◆ 堅調な当社シェアとさらなる攻略余地の存在

(国内止瀉薬市場)製品別シェア 前年同期比較

単位: %



その他正露丸・糖衣
シェア低下

水なし服用止瀉薬
シェア上昇
(うち当社シェア0.5%)

当社製品『正露丸』・
『セイロガン糖衣A』
シェア上昇

FY10上期

FY11上期

■ 当社正露丸・糖衣 ■ 水なし ■ その他正露丸・糖衣 ■ その他

出所: (株)インテージ 調査データ

◆ 既存製品のシェア向上

➢ 店頭販促策の強化

➢ その他正露丸・糖衣の
シェア奪取

◆ 水なし服用止瀉薬市場 への参入

➢ 成長市場でのシェア確保

➢ 新規製品『ピシャット錠』投入

■ 医薬品事業のシェア向上(国内)

取組み(1)

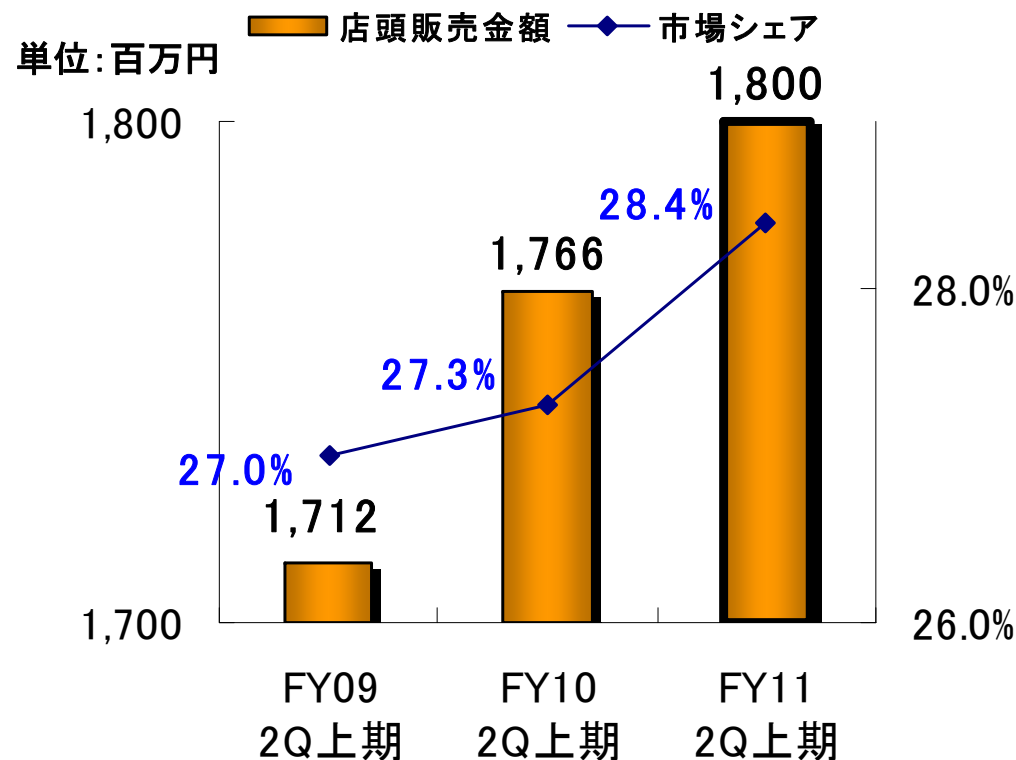
◆ 店頭販促策の強化

- 製品陳列の演出強化
- 当社製品の陳列スペース拡充
(「その他正露丸」のシェア低下)

当社製品の陳列強化例



『セイロガン糖衣A』 店頭販売金額・市場シェア 3か年推移



出所: (株)インテージ 調査データ

■ 医薬品事業のシェア向上(国内)

取組み(2)

◆ 当社ブランドの防衛と類似品の排除
2011年10月
『セイロガン糖衣A』の類似品製造販売
企業に対し、不正競争防止法に基づき
製造販売の中止等を求める訴訟を提起

＜当社製品＞

＜係争物＞



主な類似点

- ① 赤色背景に白抜き表示の使用
- ② 同一文言の使用
- ③ 表面下部の欧文字背景及びゴールド色の使用
- ④ 表面下部の赤色ラインの使用
- ⑤ 同位置の錠数表示

■ 医薬品事業のシェア向上(国内)

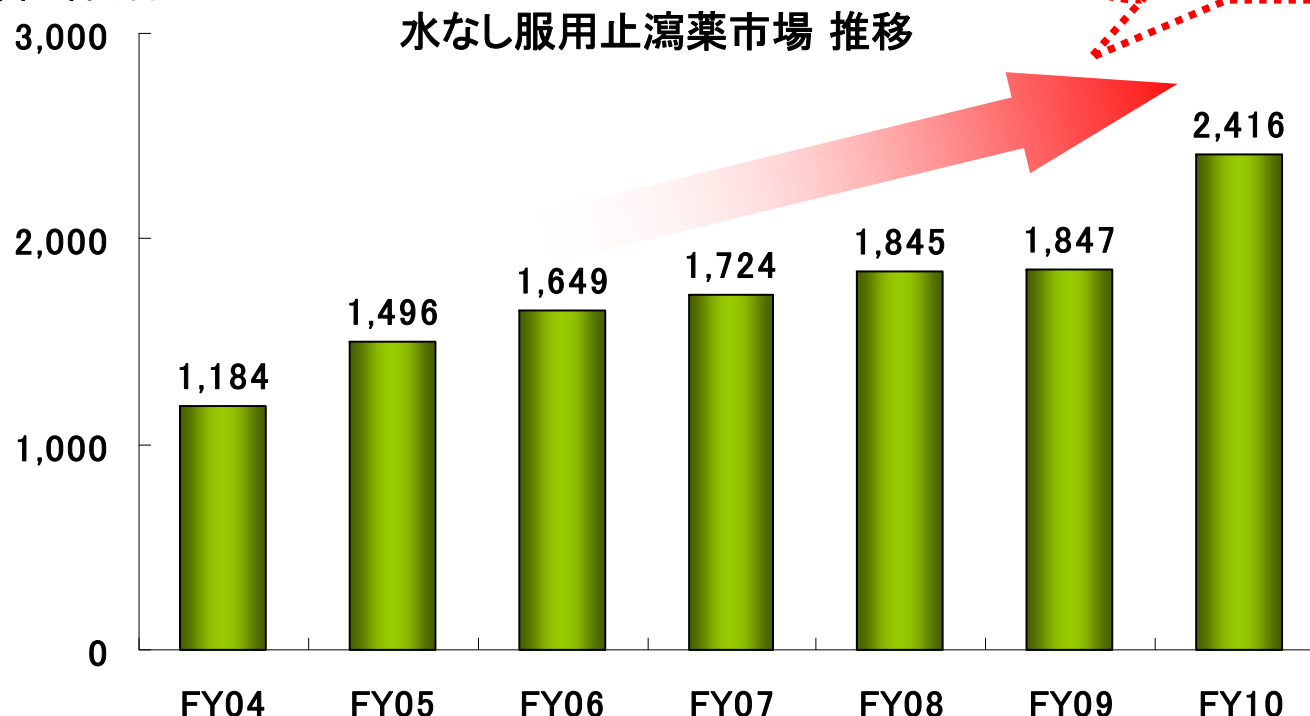
取組み(3)

◆ 水なし服用止瀉薬市場への参入

- 成長市場でのシェア確保
- 今夏新たに『ピシャット錠』販売開始



単位:百万円



最近6年間で
200%成長

- FY09: 顆粒タイプで当社参入開始
- FY11: 口中溶解タイプ新たに投入
→ 戦略的な価格設定、風味

- 上期での当社シェア 2%程度
(止瀉薬市場全体では0.5%)

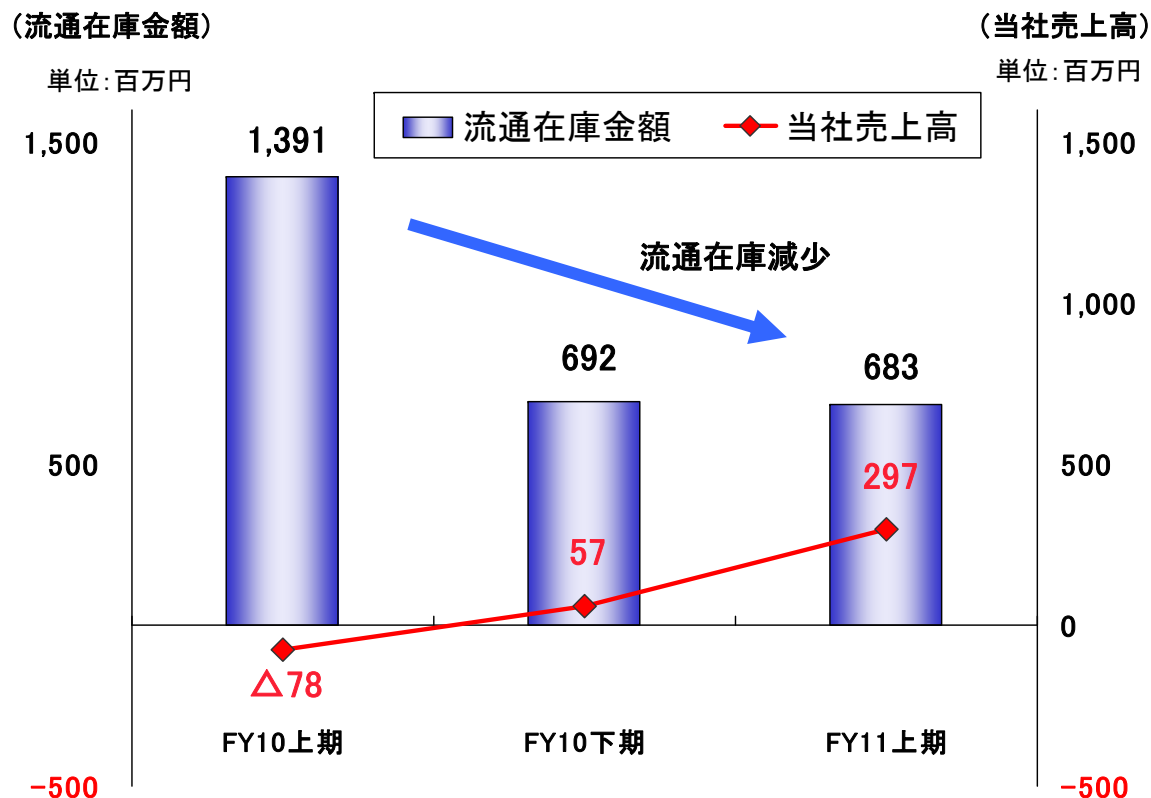
- シェア向上への余地あり、
今後も取組みを継続

■ 感染管理事業の回復(国内)

現況

- ◆ 事業環境改善、売上高が回復
(流通在庫と返品減少)

「クレベリン」シリーズ 流通在庫金額と当社売上高推移



基本戦略

- ◆ 「クレベリン」ブランドの認知度向上
- ◆ 二酸化塩素製品の市場確立



クレベリン マイスティック ディズニーバージョン

©Disney

※ 流通在庫金額: 当社出荷価格ベースによる当社推計値

出所: (株)インテージ 調査データ

■ 感染管理事業の回復（国内）

取組み(1)

◆「クレベリン」ブランドの認知度向上

- 最需要期における集中的な広告・販促策実施
 - 店頭販促タイミングに合わせたTVCM放映
 - 店頭における製品陳列の演出強化



当社提案による「クレベリン」陳列の演出例



■ 感染管理事業の回復(国内)

取組み(2)

◆二酸化塩素製品の市場確立

➤2011年7月「(社)日本二酸化塩素工業会」設立

- ・二酸化塩素製品の規格構築
- ・学会への認知訴求



物体除菌、空間除菌市場の新規開拓
(一般用、業務用)

➤「クレベリン」ブランド製品の販路拡大

- ・アライアンス推進
- ・『クレベリン発生機 リスパス』の販売推進



クレベリン ゲル



クレベリン スプレー



クレベリン発生機
リスパス S



クレベリン発生機
リスパス NEO



大幸薬品

＜将来情報に関する注意事項＞

当資料に記載されている将来情報は、種々の前提に基づくものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証するものではありません。